



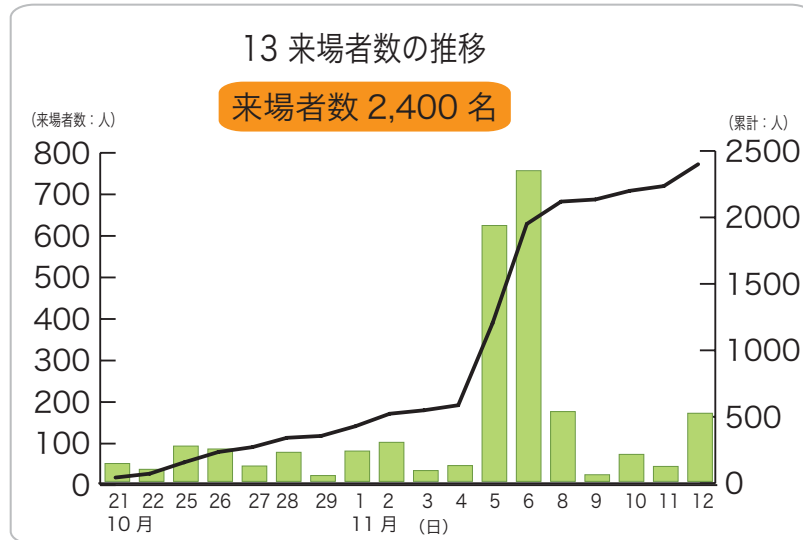
01 企画展オープニング記念講演会 (10月22日)
来場者 33名



02 『スーパーエコシップ体験ツアー』 (10月29日)
共催：生物圏科学研究科、参加者 31名



03 展示会場の様子
ものづくりのはじまりコーナー



2011年10月29日 プレスネット



04 展示会場の様子—須恵器コーナー



05 展示会場の様子
エコともものづくりの未来コーナー



07 大学祭：ハイビジョン無線伝送実演 (11月6日)



08 大学祭：広島大学フェニックスレーシングチームの解説 (11月5日)

生涯学習フェスティバル (11/5~6)

実際に触って歴史を感じて 11月12日まで企画展

広島大学総合博物館

展示品に触れる来場者

広島大学総合博物館で11月12日まで第5回企画展「エコの記憶 ものづくりの未来—地球とともに生きる」が開かれている。

学芸職の柴谷優子さんは「今年のテーマは、環境と人間の共生」で主にエコに焦点をあてている。石器時代の物づくりから、最新のテクノロジーまで人間が自然と共生してきた歴史を、実際に触ることで、より理解してもらえよう展示している」と話す。

総合博物館・助教の清水剛



06 『原始古代のものづくり—東広島キャンパスの遺跡めぐり』 (11月3日) 参加者 30名

雄さんは「今回の展示会を通して広島大学の研究技術を広く発信し、研究で終わるだけでなく、生活の一部になるようにしたい。子どもたちに訪れてもらい、夢を実現できる科学を見て体験してもらいたい」と話している。

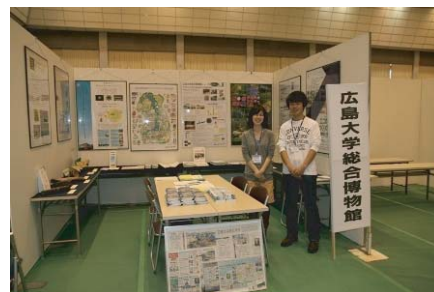
学生手作りのフォーミュラカー



09 大学祭：小出哲士先生の解説 (11月5日)



12 『体験！古代人のまが玉作り』 (11月12日) 参加者 33名



アクアパーク (東広島運動公園) 体育館
来場者 500名